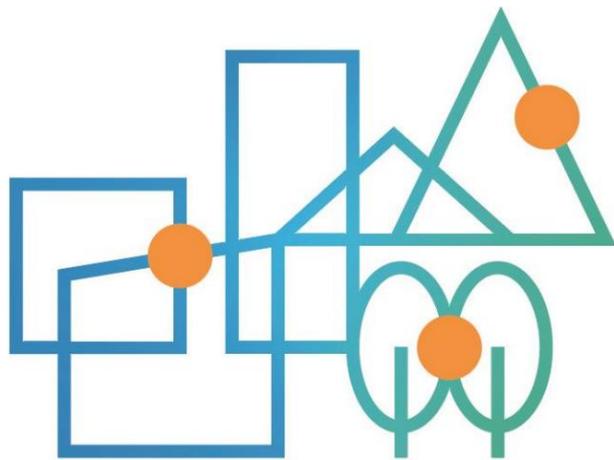


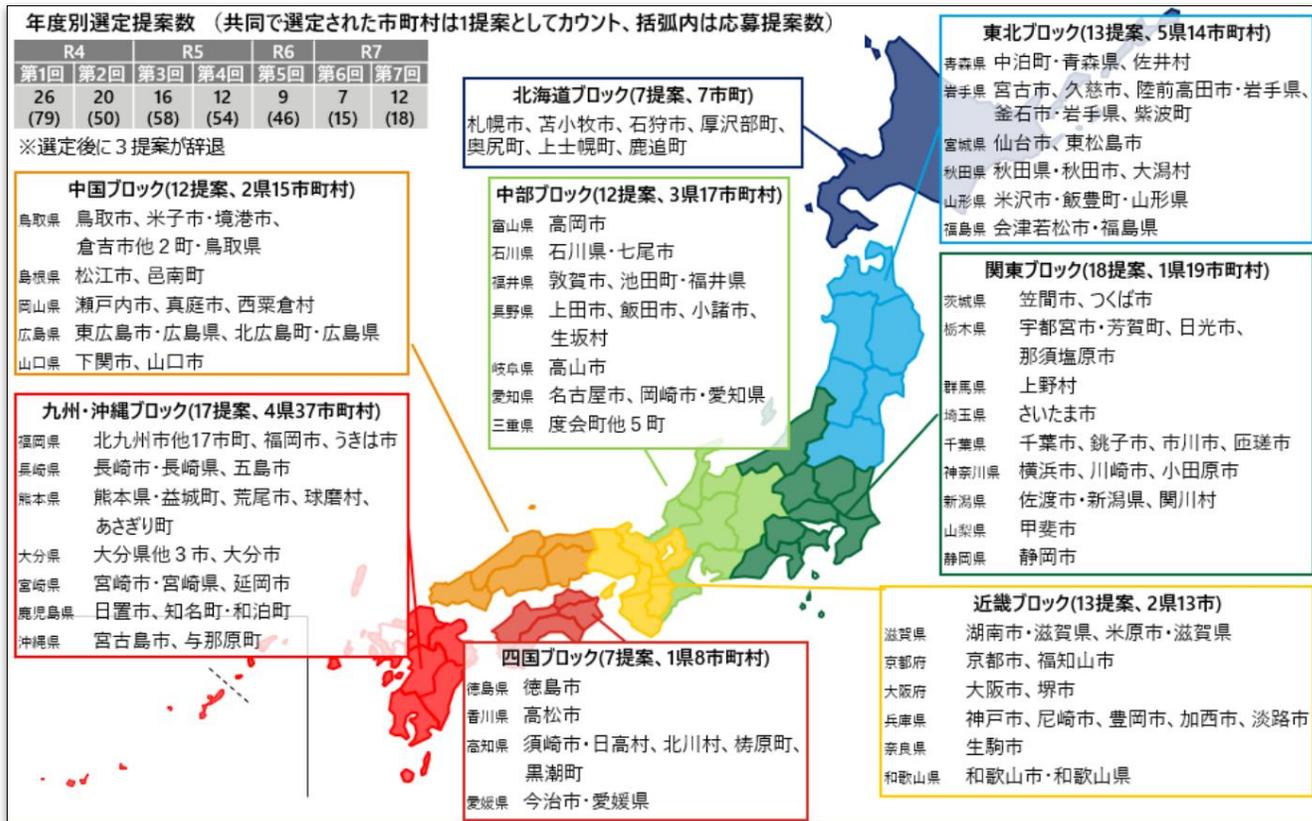
高松市が「脱炭素先行地域」に選定されました

環境省の「第7回脱炭素先行地域」に、県内で初めて、本市の提案が選定されました。今回、本市を含め12カ所が選定され、選定地域は全国で合計102カ所となりました。

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向け、2030年度までに**脱炭素の先進的な取組**を推進するとともに、**地域課題の解決**や**地域経済の活性化**を図るなど、**脱炭素と地方創生を同時実現**するモデルとして国が選定するもの



脱炭素先行地域



「脱炭素先行地域」の提案概要

提案タイトル

人と物が集まり にぎわいを生む ウォーターフロント
サンポート高松から始まる さらなる一歩
～選ばれ続ける都市・港へ 脱炭素でおもてなしプロジェクト～

計画期間

2026年度～2030年度(5年間)

総事業費

26億円

共同提案者 (23団体)

(株)百十四銀行、四国電力(株)、(大)香川大学、(一財)もりとみず基金、うみのまちづくり(株)、JR四国ステーション開発(株)、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、(株)タダノ、(株)マキタ、湊海運(株)、四国ドック(株)、イヌイ(株)、四国ガス(株)、泉鋼業(株)、ジャンボフェリー(株)、高松商運(株)、大同ガス産業(株)、大豊産業(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)穴吹ハウジングサービス、(株)Luup、(同)四国まちづくり&おもてなしプランニング、高松シンボルタワー管理協議会

コンセプト1

人や企業から「選ばれ続ける都市・港」への進化

コンセプト2

地域と共生する持続可能な再エネ発電モデルの展開

コンセプト3

EV船を核とした「サステナブルツーリズム」の推進

コンセプト4

高松港のCNP（カーボンニュートラルポート）の加速化

コンセプト1 人や企業から「選ばれ続ける都市・港」への進化

- 今や、**脱炭素**の取組は、人や企業が、**地域や投資先を選ぶ**際の重要な価値基準となっている。
- 都市間競争が激化する中、「**選ばれ続ける都市**」となるため、人流・交流拠点である「サンポート高松」を中心に**脱炭素都市としてのブランド力**を高め、にぎわいの創出と、MICE誘致や企業誘致を促進。
- 宿泊や飲食、移動の分野において、**脱炭素による高付加価値な商品・サービス(おもてなし)**を提供し、これらを活用した場合に**地域エコポイント**を付与することで、**サステナブルな商品**への理解と**地域経済の活性化**を促進。



コンセプト2 地域と共生する持続可能な再エネ発電モデルの展開

- 古くから渇水に悩まされてきた本市にとって、**ため池は貴重な地域資源**。
- 農業従事者の減少やため池管理者の高齢化などにより、**日常の維持管理が困難となり、管理放棄されたため池が増加するなどの課題**が顕在化。
- 本取組では、サンポート高松エリアへ供給する再生可能エネルギーの発電方法として、**ため池を活用した太陽光発電**を実施。
- 発電事業者が太陽光発電設備とため池の**保全管理を一体的に実施**することで**地域課題を解決**。
- 発電事業による収益の一部を地域に還元することで、地元地域にも恩恵のある**「地域共生型の再エネ創出」**のモデルケースを創出。



コンセプト3 EV船を核とした「サステナブルツーリズム」の推進

- 旅行者ニーズが多様化し、とりわけ**地域の魅力を活かした体験型観光**へのニーズが高まっている。
- 外資系高級ホテルの開業も控えたサンポート高松エリアにおいて、インバウンドを含めた観光客から選ばれる観光地となるためには、**より付加価値の高い観光コンテンツ**の創出が重要。
- サンポート高松を起点とする瀬戸内海クルーズ向けに**EV船**を導入して、美しい瀬戸内海と島々を巡る**特別な体験**を提供。
- 観光振興や環境保全が一体となった**サステナブルツーリズム**のモデルとして国内外にPRし、**瀬戸内ブランド**の価値を向上。



(参考事例／大阪「Queen Bee M7」号)

コンセプト4 高松港のCNP（カーボンニュートラルポート）化の加速

- 港湾は、海上輸送やトラック輸送などの**物流活動の拠点**であり、その性質上、**エネルギー消費が非常に多く**、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、CNPの形成を推進していくことが重要。
- 高松港には、製造業など**産業部門の事業者が多く立地**しており、工場設備の省エネ化など、脱炭素化に取り組んでいる。
- サンポート高松は、高松港の中でも、駅と港が結節する**「四国の玄関口」**として、**観光・交流・物流機能**が集積したエリア。
- こうした**シンボリックなエリア**での脱炭素化の流れを、**産業部門の事業者と連携**して港湾内に順次拡大していき、高松港の**CNP化の加速**を目指す。



その他の主な取組

取組項目	内容
外資系高級ホテルにおける国内初の単独用途におけるZEB Ready化	建設中の外資系高級ホテルにおいて、高効率な空調設備や照明設備を導入し、ZEB Readyの認証を取得
高松港湾内の産業部門事業者と連携した太陽光発電設備の余剰電力の活用	株式会社タダノと連携し、工場等が稼働しない休日や昼休みなどに発生する太陽光発電の余剰電力をサンポート高松エリアに供給
サンポートホール高松、JR高松駅舎の省エネ化	サンポートホール高松やJR高松駅舎において空調機器を高効率な設備に更新
高松シンボルタワーへの太陽光発電設備の設置	高松シンボルタワーの屋上に太陽光発電設備をリプレースし、発電出力を増強
EVカーシェアの導入、マイクロモビリティの普及拡大	サンポート高松エリアを起点に、EVカーシェアのほか、E-BIKE等のマイクロモビリティを導入して、観光振興と市中心部の回遊性の向上を図る
香川大学と連携したブルーカーボンの推進	香川大学と連携して高松港沖で藻場造成に取り組み、CO2の吸収・固定を促進するとともに、漁業資源の再生を推進
もりとみず基金と連携した地域間連系による森林保全とJ-クレジットの活用	高知県嶺北地域と高松市が設立した「もりとみず基金」と連携し、同基金が創出する森林由来J-クレジットを活用して、市内事業者の脱炭素経営を促進